

# 令和2年第3回安城市議会定例会陳情文書表

令和2年9月1日

番号	陳情第2号	受理年月日	令和2年8月11日
件名	私立高校生の父母負担を軽減し、学費の公私格差を是正するために市町村独自の授業料助成制度を維持し、拡充を求める陳情		
提出者	黒柳貴夫		
付託委員会	市民文教常任委員会		
要旨	<p><b>陳情の趣旨</b></p> <p>日頃より、私学教育の振興、とりわけ、私立高校生に対する授業料助成につきまして、ひとかたならぬご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。</p> <p>愛知県では、高校生の3人に1人が私学に学び、私学は公立高校と同じく「公教育」の場として大きな役割を担っています。今年度から、国は「年収590万円未満世帯の授業料実質無償化」を実施し、愛知県では、国による就学支援金の増額分を全額活用して、年収720万円まで授業料と入学金を無償化し、私学に学ぶ生徒と父母の切実な願いであった「父母負担の公私格差の解消」は大きく前進しました。</p> <p>しかし、無償化された年収720万円未満の世帯でも、「施設設備費等」は無償化の対象にならず、年間約4万円（令和元年度の愛知私学平均で42,064円）の負担が残っています。</p> <p>また、年収720万円～840万円未満の世帯では、無償化されている公立高校と比べて、入学時には約34万円、2年次以降も年間約24万円の学費を負担しなければならず、学費の“負担感”は依然として大きなものとなっています。さらに年収840万円以上の世帯の学費の公私格差は、それよりもさらに約20万円も大きくなっています。年収1000万円前後までの世帯であっても、子どもが2人以上いれば、学費の心配をせずに自由に私学を選べる状態ではありません。</p> <p>県下各市町村の助成は、何十年にもわたる父母・市民の血のにじむような働きかけがあり、それに共感した当局や議会関係者のご尽力によって、国や県の私学助成を補うものとして独自に実現されてきました。</p> <p>私学助成については、国はもとより、高校以下の教育に直接責任を負う県の役割は重大ですが、「父母負担の公私格差」が未だ抜本的な解決に至っていない実情を踏まえ、「すべての子どもが、親の所得にかかわらず、等しく教育を受ける権利」を保障するために、下記の要望事項について、市町村独自の授業料助成制度を維持し、拡充していただくことを心からお願いする次第です。</p> <p><b>陳情事項</b></p> <p>「教育の機会均等」の理念にもとづき、国・県の制度と併せて学費負担の公私格差を是正するために、私立高校生に対する市町村独自の授業料助成制度を維持し、拡充してください。</p>		

# 令和2年第3回安城市議会定例会陳情文書表

令和2年9月1日

番 号	陳 情 第 3 号	受理年月日	令和2年8月20日
件 名	国指定史跡本證寺境内の整備実現に関する陳情		
提 出 者	桜井地区文化財保存会 会長 黒柳 一明 他2名		
付託委員会	市民文教常任委員会		
要 旨	<p><b>陳情の趣旨</b></p> <p>地域の歴史を学び、先人の足跡に思いを馳せるとともに、次世代へ継承し、その価値が理解できるように整備することは、現代に生きる私たちの責務であり、未来への投資といえることができます。そこから私たちは誇りと勇気を得られ、団結の象徴とすることができ、未来への指針を得ることができるからです。</p> <p>野寺町の本證寺は鎌倉時代に創建され、戦国時代の三河一向一揆においては、その自治権を賭けて徳川家康と争いました。また、重要文化財の聖徳太子絵伝、善光寺如来絵伝など、文化財の宝庫でもあります。平成27年には、一向一揆当時の堀や土塁が残ることなどが評価され、国の史跡に指定されました。</p> <p>桜井地区に住む者にとって、本證寺はまさに地域の歴史のシンボルです。また文化財への公的補助制度が不十分だった昭和33年、桜井町長の杉山嘉英氏の呼びかけにより、地域で本證寺の文化財を支えていく本證寺奉賛会ができました。また、平成5年に発足した私たち桜井地区文化財保存会は、当時課題となっていた本證寺本堂解体修理の寄付金募集に奔走するなど、行動でその想いを表してきました。そして平成26年の国史跡指定答申発表の際には、神谷市長もお招きして、境内で祝賀会を開催させていただきました。</p> <p>指定を機に持ち上がった本證寺史跡整備計画ですが、平成27年3月議会で答弁いただいた、令和4年の史跡公園一般供用開始という計画は承知しております。また、その内容も、堀や土塁の復元、ガイダンス施設の設置など、私たちの郷土愛に応じていただけるものでした。しかし、その後、度重なる計画の延期があり、地域の歴史を誇りに思う私たちにとっては、心穏やかでいられない状況です。そうしたなか、今回の新型コロナウイルス感染症の拡大が起きました。様々な関連対策費の増大により、財政運営の厳しさは理解しておりますが、文化とは、私たちに安らぎと勇気を与え、明日への希望を与えてくれるものだと思います。</p> <p>国指定史跡本證寺境内の整備を通じて、新型コロナウイルス感染症のために暗くなりがちな心を癒すだけでなく、特に若い世代が誇り高い安城人として育ち、未来の安城を支えていってほしいものです。こうした未来への投資を実現するために、次のことを陳情します。</p>		
	<p><b>陳情事項</b></p> <p>(1) かねてから課題となっている駐車場の暫定整備を、早急に行ってください。</p> <p>(2) 史跡本證寺境内整備基本計画を、令和4年度までに確実に策定してください。</p> <p>(3) 史跡本證寺境内整備にあたっては、次のことをお願いします。</p> <p>① 整備実現のためのロードマップを提示し、確実に実行してください。</p> <p>② 特に若い世代が地域に誇りを持てる十分な規模と内容にしてください。</p> <p>③ 歴史の復元整備だけでなく、私たち市民や、特に観光面において地元企業などが関与できる仕組みを組み入れてください。</p>		